



やり残したことは何か

小玉 勇 議員

ソフト面は不足と感じる

町長



消防分署の安全祈願祭（8/29）

3期目は何を

2期8年の自己分析は、町長 虹のプラザの完成、消防分署工事の目途が立ちハード面に関しては自負している。これからはソフト面に最大限、努力したい。

空き家の解体

新聞では鶴岡市の旧ホテルが工事費用1億8千万円のうち、国の補助金が1億1千万円で撤去される」との記事があった。町はもっと情報収集に力を入れるべき。

町長 今、他市町村の取り組みを検討している。これから具体策を考えていく。

約60%の補助の計算だ。町長のやり残したことで実行すべき。

町長 国の補助を活用し町が直接解体できる制度がある。十分比較検討していく。

全国学力調査

当町の結果の分析は、町長 小学校国語、算数とも良い成績。中学校については県の平均を下回っているが、県とのマインラス幅が縮まっており成績は上昇しつつある。

初めての中学校英語は、県平均が全国より3ポイント下回っている。当町は、町長 残念ながら県平均よりも下回っている。英語学習や教育課程の見直しも進める必要がある。これからどんなことをするつもりか。

教育長 3小学校の同学年を集め、虹のプラザで合同の英語学習をしたい。競争心も目覚めるのではと期待する。また義務教育の授業を十分にやった上で英語等を発展させる事業も夢に描いている。

メガソーラー事業

環境影響評価方法書の縦覧中。着々と計画は進行している。町はどうする。

町長 今は、具体的な内容が示されていないので判断できない。

2〜3年後には判断、決断をしなければならない。

町長 町民、議会の意見を聞いて判断していく。



環境影響評価方法書縦覧（役場ロビー）（令和元年9月25日で終了）

手つかずの諸課題に道筋を

遠藤宏司 議員

限られた予算の中、検討する

町長



完成が遅れている流雪溝工事（鷹巣地区）

残された課題

県内で2番目に高額な国保税。平成30年度決算で国保基金は1億143万円、今年度中に7千万円の積み増しが可能になる。引き下げの考えは、町長 基金の積立額を考慮したうえで、適正な税率となるよう議論を進めていく。

尾花沢市は給食費へ半額の助成をしている。当町も支援できないか。

残り

町長 現状では時期尚早との考えだ。

尾花沢市は高校3年まで医療費を無料にしている。当町も拡大できないか。

町長 限られた予算である。今の段階で拡大は考えていない。

流雪溝未整備の小菅、今宿、駒籠地区に整備の道筋をつけられないか。

町長 国に当町の冬期間の状況説明を継続し、流雪溝整備手法を検討していく。



おいしい給食風景（南小）

固定資産税課税ミス

本年度分の還付額をいつまで確定できるのか。

町長 早期に確定させ、年度内に完了するよう努めている。

山形市は相続登記されていない資産の税額の算出に誤りはないとしている。尾花沢市は過去10年分の還付を考えているという。

当町は法律どおり5年というのをおかしい。過去の分は、いつまで確定し還付できるのか。

町長 年度ごとに確認、確定する必要がある。2年から3年かかるの見込んでいます。

改めて、町民の皆様へ深くお詫びを申し上げ、解消に向けて早急に取り組んでいきたい。